

# 介護研修にVR ミャンマーで提供 ジョリーグッド

い、高齢者への対応の仕方  
方を効率良く学んでもら  
う。海外展開はミャンマ  
ーが初めてとなる。

ジョリーグッドは企業  
研修や教育用のVRコン  
テンツを開発している。

日本で提供している介護  
用VRコンテンツを外国  
人向けに改良し、日系の  
人材送り出し機関である  
ミャンマー・ユニティに  
1月に提供した。

受講生は介護現場で必  
要なノウハウを集中して  
学ぶ。心肺停止や転倒に  
伴う出血といった不測の  
事態を疑似体験し、実際  
に起きたときに備えるコ  
ンテンツなどがある。

VRを使うと通常の授  
業では難しい体験が可能  
になる。例えば施設にい  
る認知症の患者が「家に  
帰りたい」と訴えるとき、  
介護士が実際にどう対応  
するのか高齢者の目線で  
観察する。介護サービス  
を受ける相手の視点で考  
える訓練になる。

ミャンマー・ユニティ  
の北中彰最高顧問はVR  
導入の背景について、教  
える講師が不足しつつあ  
り「教育の質の確保が課  
題となっていた」と話す。

ジョリーグッドの上路健  
介最高経営責任者（CE  
O）は「VRは理解度の  
ばらつきを減らせる効果  
もある」と話す。

導入費はゴーグル10台  
を含むセットで62万円。  
これとは別に月額15万円  
の使用料がかかる。今後  
はベトナムや中国など人  
材の送り出しが多い国々  
での事業を目指す。

【ヤンゴン＝新田裕一】  
仮想現実（VR）映像を  
制作するジョリーグッド  
（東京・中央）はミャン  
マーでこのほど、介護人  
材に専門知識を教えるVR  
システムの提供を始め  
た。現場にいるかのよう  
な臨場感のある映像を使

用するジョリーグッドは、  
介護人材に専門知識を教  
えるVRシステムの提供を  
始めた。現場にいるかの  
ような臨場感のある映像  
を使用する。